学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字　結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより１１号
令和５年６月２６日発行
文責：校長・副校長

西彼杵郡・長崎市水泳中総体結果！！

６月１７、１８日に水泳の中総体が行われました。球技・武道、陸上、新体操に続く４つ目の中総体です。時津中学校からは４名の生徒が出場しました。結果を報告します。

【第１位】
１年　５０ｍ平泳ぎ：生田　　蒼

【第２位】
１００ｍ自由形：川口　鉄平

【第３位】
１年　５０ｍバタフライ：田川　慶之介
１００ｍ背泳ぎ：小川　夏生

小川夏生さんと川口鉄平さんが県中総体に出場します。ベストを尽くせるように日々の練習に励んでほしいと思います。

１０月に開催される駅伝競技を残し、中総体の全競技が終了しました。７月の県中総体ではきっとまた、熱い戦いが繰り広げられることと思います。保護者・地域の方々の温かい見守り・サポートと応援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

時津っ子の心を見つめる教育週間開始！！

６月２４日（土）～６月３０日（金）

今年も「時津っこの心を見つめる教育週間」が始まりました。

長崎県で心を見つめる教育週間の取組が始まったのは２００４年（平成１６年）です。

２００３年（平成１５年）に、中学１年生が、４歳の男児を誘拐し殺害するという痛ましい事件がこの取組のきっかけとなります。

この翌年から、毎年、学校と保護者及び地域の住民が連携し、「いのちを輝かせて生きる心豊かな子どもの育成」を目指す取組としてすべての公立学校で実施しているのです。

校長講話では、「大切な人の命に値段をつけるとしたらいくらになりますか？命に値段はつけられません。なぜつけられないのでしょう。それは、先祖代々受け継いできたバトンだからです。受け継いできたからこそ、値段はつけられません。命を大切にしてほしい。もう一度その大切さに気付いて命のバトンを引き継いでほしい。」と、相田みつをさんの命のバトンという詩を引用したお話でした。最後にさだまさしさんの命の理由という曲を聴き、時津中学校の心の教育週間がスタートしました。

２校時には３年生の進路説明会が行われ、いよいよ３年生は自分の生き方について真剣に考える時期に突入しました。保護者の方と共に真剣に自分のことについて考える学習会となりました。

３校時には全学級で「命の道徳」の授業参観が行われ、たくさんの保護者の方々に参観していただきました。それぞれの学年や学級での命の授業は、いかがだったでしょうか？命について考えを深めることができたでしょうか。

命については、教育週間だけではなく、毎日の一瞬一瞬で考え、感じなければいけないことだと思います。

たった一つのかけがえのない命ですから、自分の命も他人の命も大切にすることのできる人でありたいと思います。

【今週の予定】
６月２７日：道徳　情報モラル　11:20～12:10
６月２９日：道徳　被爆講話　　13:40～14:30

進路説明会にはたくさんの保護者の方に参加していただきました。親子で並んで座り、話を聞きました！！！

命の道徳。みんな真剣です。３年生は、最後、保護者参加型の授業でした。ありがとうございました！